



岩崎ひろし なんでも相談 **ビフォー&アフター シリーズ NO.162**

老朽化で傷んだ道路 改修工事始まる 舞岡台地区内生活道路

開発後45年経過した住宅地内道路の傷みがひどく、通行に支障、車が通ると家が振動するなど、改修要望がかねてより出されています。

岩崎ひろし事務所は、2010年以降、改修工事の要望を土木事務所に繰り返し行ってきました。

バス通りは、2013～14年度に工事が行われきれいになりました。

いよいよ住宅地内道路の改修が始まりました。土木事務所は「総延長が長いため、今後、数年かけて改修を行う」としています。



舞岡台団地内の道路舗装の傷み状況 (2014年7月21日撮影)



道路舗装の改修工事後の状況 (2016年2月18日撮影)



2016年1月29日 衆院第二議員会館にて

「俣野小学校を育む会」の保護者がこのほど、横浜市が計画している市立俣野小学校の統廃合の中止を、文科科学省に要請しました。日本共産党の畑野君枝衆議院議員、椎葉かずゆき参院比例候補、岩崎ひろし市議が同席しました。

横浜市教育委員会が地域ごとに設置している学校規模適正化検討委員会は昨年10月、「小規模校では子どもの社会性が育たない」などとして、児童数が120人をわずかに下回ったことを理由に俣野小を隣の深谷小に統廃合する案を打ち出しました。

保護者は「私も卒業生ですが、社会性が育たないということがありません」「単級の小規模

模の特色を生かして、縦割の班活動や地域の住民と一緒にあった活動をしてきた」と訴えました。

畑野議員は「1973年の文部省『通知』が示した、学校規模を重視するあまり無理な学校統廃合を行い、地域住民との間に紛争を生じたりすることは避けなければならぬ」との考え方は、2015年の『学校統廃の手引き』でも引き継がれていると文科省は私の質問に答弁した」と指摘しました。

岩崎ひろし市議は「要請内容を文科相に伝え、横浜市教育委員会には『手引き』の趣旨を踏まえ、俣野小存続を願う父母の声を十分聞いて、住民合意で事を進めるように伝えてほしい」と要請しました。文科省は「要請については伝える」と答えました。

「統廃合やめて子どもたちの学校存続を」

俣野小保護者 文科科学省に要請

◆フリースペース広場◆

3月19日(土) 午後1時
戸塚駅西口ペDESTリアンデッキ
安倍政権の暴走ストップ!!

あなたの声 あなたの想いを語ろう!

◆3月の早朝駅頭宣伝◆

東戸塚駅 9・23日
戸塚駅東口 2・16日・30日
戸塚駅西口 4・11・18・25日
(各駅とも朝7時～8時)



参院選勝利 戸塚区演説会



参院選比例代表
椎葉かずゆき



参院選選挙区
あさか由香



衆議院議員
畑野君枝

日程 4月16日(土)
開会 18:30
場所 戸塚区民文化センター
さくらプラザ(区役所4階)

◆無料法律相談◆ 3月16日(水)18:30～ 事前予約が必要です。協力：横浜みなみ法律事務所
◆なんでも相談◆ 「ほっと戸塚」で常時受付けています。お気軽にご相談ください。

